

会員のひろば

■ 堆肥班に参加して

精華台1丁目 野口康治

「野口さ～ん、帽子を被って作業しないと怪我をしますよ～」と、この二ヶ月に何度も声を掛けてもらいました。

子供の頃から帽子を被ると頭が禿ると聞かされていたので、ほとんど利用したことが無く被るのを忘れるのです。ただ、帽子の名誉の為に言うのは帽子のせいではなく遺伝的な要素が多いと私の頭が証明しています。

作業は3K（きつい、汚い、危険）労働に近いかもしれませんが、経験豊富な人の集まりだけに雑学好きの私には楽しい作業所です。野菜や果物に関するうんちくから、紐の上手な結び方まで話題は多岐にわたります。

10月から作業に加わったので、食した事の無い秋の収穫のお裾分けも沢山頂きました。休憩時間に何人かが長い竿を持って大はしゃぎをしてアケビを採っているのを見て「まるで子供やで」と笑顔で温かく見守る雰囲気が、ここには有ります。

イノシシも出ますし、堆肥の山の中にはカブトムシの幼虫も一杯います。京都市内から転出した時、小学生になったばかりの息子が「田舎の子供になった」と言っていたと同じ状況に私がいる気がします。

作業所に見学に来たとき「ここでの生活が楽しめないと、仕事だけでは長続きしないかも」と言われた意味が少し判った気がしています。寒い時期の作業、変な虫や蛇も出てきそうな夏の作業は未経験ですが楽しんでしまおうと思っています。



■ 新年にあたって

精華台4丁目 吉原征子

会員の皆様、御家族の皆様明けまして、お目出度うございます。

私たちがシルバー人材センターでお仕事出来るのも、御家族の健康と理解、協力の上にあると思います。新年にあたって感謝いたします。

私は昨年5月より保育所の清掃作業をしています。1才児から今年小学校に上がる子供達まで大勢います。子供達を見ていると、50才になる息子の子供の頃を思い出し、あの頃は息子も可愛かったし、私も若かった、そんな昔を思い出させてくれて、ほのぼのと心が和みます。

私の好きな言葉は「命一番、にこにこ二番、三番さっさと自分でしよう」です。保育所の子供達は皆んな大きな声で歌って、にこにこ笑ってとても元気です。自分で服も一生懸命着替えています。私には曾孫のような子供達が、ハイタッチしてくれます。保育士さんのご苦勞も垣間見ることもあります。私もこの先、何年続けていけるか分かりませんが子供達の成長と共に歩んでいけたら幸せです。

今年は未年、羊に因んで、仕事仲間を増やして、穏やかで争い事や甚大なる天災のない一年でありますように願っています。

最後になりましたが、シルバー人材センターの御一同様には大変お世話になります。

今年もよろしくお願ひ致します。

御健康と益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

